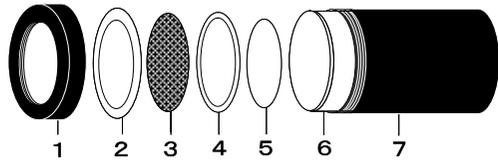


長期型サンプラー組み立て方法

サンプラーの構造及び分解図は下に示すとおりです。



1. ジュラコン固定用ネジ蓋(内径35mm, 直径40mm, 長さ12mm)
2. テフロンパッキン(内径26mm, 直径34mm)
3. 金網付きキャップ
4. テフロンパッキン(内径26mm, 直径30mm)
5. 捕集ろ紙(26mmφ)〈別売り〉
6. ガラス容器(内径27mm, 直径30mm, 長さ50mm)
7. ジュラコン遮光容器(内径30mm, 直径33mm, 長さ55mm)



サンプラーの組み立て方法は下に示すとおりです。

なお、各部品はあらかじめ蒸留水又は純水で洗浄しておいて下さい。



ジュラコン容器に
ガラス容器を入れます



捕集ろ紙をガラス
容器の底に入れます



テフロンパッキン(小)を
ガラス容器の上ののせます



金網付きキャップをのせます
(目の細かい方が上です) ↓

注意事項:

- 1) 各部品, 特にろ紙は素手で扱わないようにしましょう。
- 2) ろ紙を装填してからはできるだけ外気にさらさないように手早く作業しましょう。



オレンジケースにサンプラーを
入れしっかり栓をします



蓋を閉めます



ジュラコンネジ蓋にテフロン
パッキン(大)をはめます

長期型サンプラー設置方法



測定する場所にある木、電柱、標識などに針金などを使って固定します

サンプラーの頭部をシェルター内の金具に引っ掛けて、格納します

この状態で約1ヶ月間放置して捕集を行います

長期型サンプラー回収方法



シェルターからサンプラーを取り外します。

サンプラーを密閉容器に入れ、しっかり蓋をします

この状態で実験室に持ち帰ります

注意事項

1. 設置した時刻と回収した時刻を記録することを忘れないようにしましょう
2. 室内で捕集する場合はシェルターを用いなくてもかまいません
3. 設置するまでと回収して分析するまでは、サンプラーが直射日光や高温にさらされることのないように、できるだけ、冷蔵庫などに保存してください

長期型サンプラー捕集ろ紙の抽出方法



適当な大きさのビンや試験管に純水（蒸留水やイオン交換水）40mLを正確に入れておきます



ネジ蓋を外します



ピンセットなどを使って中から捕集したろ紙を取り出します



ろ紙を純水の入ったビンに入れます



軽く振り混ぜた後30分以上放置して、捕集成分を水に抽出します



分析操作を行います。
分析操作については別途マニュアルを参照してください